

平成21年4月24日

保護者の皆様

広島市立牛田小学校
校長 西山 伏見

学習指導要領の改訂 及び ひろしま型カリキュラムの導入について

1. 学習指導要領の改訂

平成20年3月28日、教育について一定の水準を確保するために、国(文部科学省)が定めた教育課程の基準である「学習指導要領」が改訂されました。「新学習指導要領」は、平成21・22年度の移行措置期間を経て、平成23年度より全面实施となります。

「新学習指導要領」では、現行の学習指導要領の「生きる力」をはぐくむという理念は、これからも重要なものとして、継承されます。

<生きる力>

「生きる力」とは、知・徳・体のバランスのとれた力を示します。変化の激しいこれからの社会を生きるためには、確かな学力、豊かな人間性、健康・体力の3つの力をバランスよく育てることが大切です。「新学習指導要領」では、「生きる力」をよりいっそうはぐくむことを目指しています。

<改訂のポイント>

今回の改訂のポイントとして、以下の3点が示されています。

- (1) 教育基本法の改正等で明確になった教育理念を踏まえて、教育内容を見直す。
- (2) 学力の重要な3つの要素（基礎的な知識・技能 思考力・判断力・表現力 学習意欲）を育成する。
- (3) 道徳教育や体育などの充実により、豊かな心や健やかな体を育成する。

<具体的な内容>

言語の力をはぐくむ

・国語をはじめ各教科等で、記録・説明・批評・論述・討論などの言語を使った活動を行い、全ての教科等で言語の力をはぐくむ。

理数の力をはぐくむ

・算数、理科の授業時数を増加し、観察・実験や反復学習などを充実する。

外国語教育を充実する

・小学校5・6年生で、英語を中心とした「外国語活動」を導入する。

伝統や文化に関する教育を充実する

- ・国語の時間では、古文・漢文の音読を行う。
- ・社会の時間では、国宝などの文化遺産についての学習を充実する。
- ・音楽の時間では、唱歌や和楽器の学習を充実する。

新しい時代に対応した教育を充実する

・環境教育，家族と家庭に関する教育，食育，消費者教育，情報教育，特別支援教育を充実する。

規範意識や他人を思いやる心をはぐくむ

・道徳の時間では、児童が感動を覚えるような魅力的な教材を開発・活用する。また、子どもの発達に応じて、あいさつ，規範意識，自他の生命尊重，社会への主体的な参画などについて指導する。

健やかな体を育てる

・体育の時間では、運動する子どもとそうでない子どもの二極化を解消し、体力を高めることができるよう、体をほぐす・バランスをとるなどの「体づくり運動」を小学校低学年から行ったり、球技やダンスなど、様々な運動を行う。

2. ひろしま型カリキュラムの導入

広島市は、平成13年度より「心身ともにたくましく、思いやりのある人」を教育における基本理念として、様々な教育施策を展開する中で、平成17年度に、大学教授や小・中学校の教員を委員とする「基礎・基本の力の定着に係る学校教育のあり方検討委員会」を設置し、広島市における教育課題への対応策を検討し、平成18年4月に最終報告をまとめました。

その最終報告で、広島市の学力の現状と課題として、「基礎的な知識や技能はおおむね身に付きつつあるが、そのいっそうの定着を図るとともに、思考力・判断力・表現力の向上に努める必要があること、そのために、言語運用能力・数理運用能力の向上と定着を図るべきである」ということが、指摘されました。この課題の解決に向け、広島市が、従来の義務教育の教育課程の枠を超えた新たな方策として打ち出したものが、「ひろしま型カリキュラム」です。

「ひろしま型カリキュラム」は、平成18年11月に、「ひろしま型義務教育創造特区」として国から認定を受け、平成19年度から3年間研究開発校等で実践研究を経て、平成22年度から広島市立小・中学校で全面実施となります。

<ひろしま型カリキュラムの3つの柱>

(1) 小学校と中学校の連携・接続の改善

「ひろしま型カリキュラム」では、下のように9年間を見通した教育課程を編成します。

前 期（4年間）				後 期（5年間）				
小1	小2	小3	小4	小5	小6	中1	中2	中3
学びの基盤づくりと基礎の徹底 帯時間（国語・算数）				思考力・判断力・表現力の向上と発展 言語・数理運用科，小学校英語科の導入 帯時間（英語）				
仮名・漢字の習得， 九九・整数の四則演算の定着など				基礎的な知識・技能の活用				

(2) 言語・数理運用科の創設

言語・数理運用科は、小学校5年生から導入します。ねらいは2つあり、1つは、国語、算数、社会、理科など各教科の学習をもとに、言語運用能力・数理運用能力の向上を図り、思考力・判断力・表現力を育成することです。もう1つのねらいは、言語運用能力・数理運用能力を日常生活で活用できるようにすることです。

この教科は、広島市独自の教科であるため、小学校5年生から中学校3年生までの5年間を見通した学習計画、及び、学習に必要な教材・テキストなどを、広島市が作成し、提示します。

(3) 小学校英語科の創設

小学校英語科は、5・6年生に導入され、「英語による活動を通して、言語や文化に対する興味・関心を高め、英語を聞いたり話したりする力の基礎を養うとともに、積極的にコミュニケーションを図ろうとする態度を育成する」ことをねらいとしています。「聞く」「話す」という音声を中心とした活動を通して、英語に親しむことを大切に指導します。

英語科においても、言語・数理運用科と同様に、小学校5年生から中学校3年生までの5年間を見通した学習計画、及び、学習に必要な英単語カードや音声CDなどの教材を、広島市が作成し、提示します。

また、小学校英語科の指導は、原則として、学級担任と英語に堪能な人材とのチームティーチングが計画されており、AIE（Assistant Instructor of English Language Teaching）が、本年度6月から配置されます。

< 本校における本年度の導入内容と時間について >

本校では、帯時間（15分授業）を「いきいきタイム」として、13時50分から14時5分に設定し、移行期間の本年度は、火・金曜日の週2回実施します。

平成22年度は、全面実施により、週3回になります。

5・6年生で始まる言語・数理運用科、英語科（45分授業）とともに、移行期間の本年度は、年間20時間を予定しています。

平成22年度は、全面実施により、言語・数理運用科、英語科ともに、年間35時間（週当たり1時間）になります。

平成21年度 牛田小学校 授業時数

（1単位時間は45分）

		国語	社会	算数	理科	生活	音楽	図画工作	家庭	体育	言語・数理運用	英語	道徳	特別活動	総合的な学習の時間	年間総授業時数
前期	小1	272	-	136	-	102	68	68	-	102	-	-	34	34	-	816
	小2	280	-	175	-	105	70	70	-	105	-	-	35	35	-	875
	小3	235	70	175	90	-	60	60	-	90	-	-	35	35	95	945
	小4	235	85	175	105	-	60	60	-	90	-	-	35	35	100	980
後期	小5	180	90	175	105	-	50	50	60	90	20	20	35	35	70	980
	小6	175	100	175	105	-	50	50	55	90	20	20	35	35	70	980

上記の授業時数に、帯時間の授業の合計が、年間20時間（1～4年では国語・算数、5・6年生では英語）加わります。

平成23年度は、新学習指導要領の全面実施により、1・2年生では、国語の授業時数が週に1時間増え、それに伴い、年間総授業時数も増加します。3～6年生では、年間総授業時数は変わりませんが、一部の教科等で時間数の増減があります。